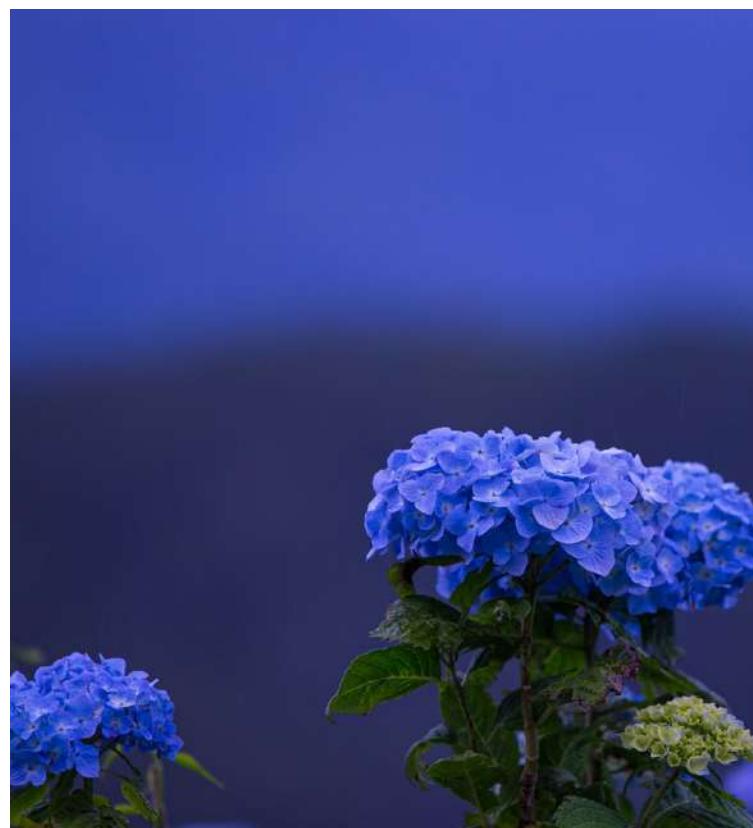


エコアクション21環境経営レポート



発行日：2022年6月30日

対象期間：2021年6月～2022年5月



株式会社フジタ建設コンサルタント



取組の対象組織・活動

(1) 名称及び代表者名

株式会社フジタ建設コンサルタント
代表取締役 藤田 達也

(2) 所在地

本 社 〒771-0204 徳島県板野郡北島町鯛浜字原87-1
阿南営業所 〒774-0017 阿南市見能林町青木148-7
徳島営業所 〒771-0136 徳島市川内町平石古田261

(3) 環境管理責任者及び担当者連絡先

責任者及び担当者 管理部 総務課
TEL:088-698-2155

(4) 事業活動の内容

一般公共構築物に関する設計、測量、調査及び補償業務

登録事業名	登録番号
測量業	第14-1717号
建設コンサルタント	建01第453号
地質調査業	質04第1653号
補償コンサルタント	補30第189号
一級建築士事務所	第11085号
計量証明事業所	第75・76・86号

(5) 事業の規模

設立年月日 昭和41年6月1日
資本金 4千万円
売上高 15億9千万円
従業員数 107名
延べ床面積 2578m²

(6) 事業年度

6月～翌年5月

(7) 認証登録対象範囲

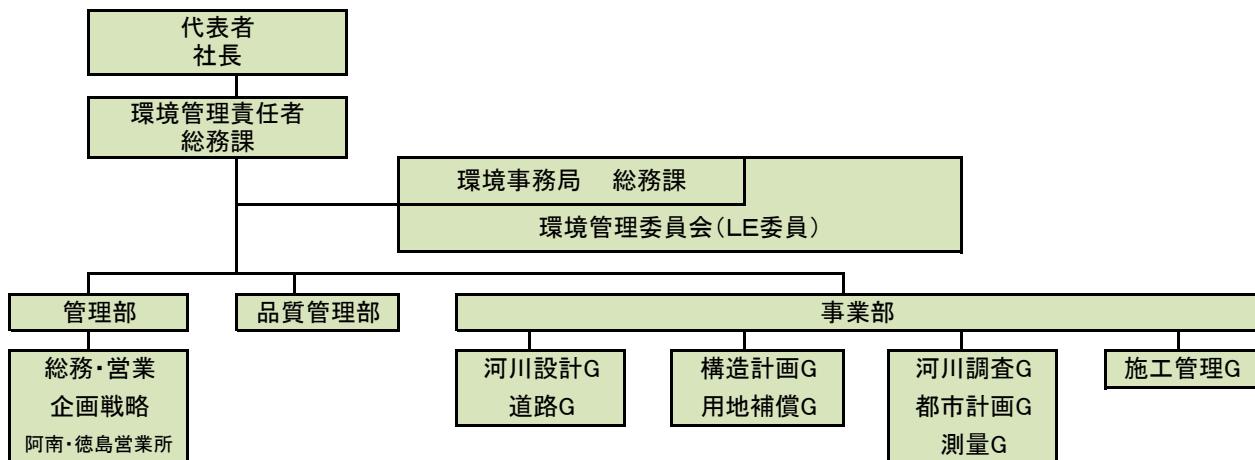
全組織・全活動

(8) レポートの対象期間及び発行日

対象期間 令和3年6月1日～令和4年5月31日
発行日 令和4年6月30日

実施体制の構築

株式会社 フジタ建設コンサルタント 実施体制図及び役割・責任・権限表



役割・責任・権限	
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・代表者による全体の評価と見直しを実施
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・環境活動の実績集計を承認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの承認 ・是正、予防処置の勧告
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
部門長	<ul style="list-style-type: none"> ・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 ・特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成 ・テスト、訓練を実施、、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
環境管理委員会 (LE委員)	<ul style="list-style-type: none"> ・特定された項目の運用管理及び記録の作成
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

環境経営方針

<基本理念>

- ・自然と人間の調和をめざし、企業活動の一環として社会的責任を果たすとともに地域社会の住みよい生活環境創りに貢献する。
- ・企業活動において、環境負荷の低減や環境に配慮した活動に取り組み、自主的、積極的な継続的改善に努める。
- ・社員の働く環境を継続的に改善し、健康で効率的に働く職場を目指す。

<行動指針>

具体的に次のことに取り組むものとする。

- ① 電力・自動車燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
- ② 廃棄物の3R（減量、再使用、再生利用）の推進
- ③ 水資源の節約
- ④ 社員の働く環境の改善の推進
- ⑤ 環境関連法規制や徳島県条例その他の遵守
- ⑥ 環境配慮型の設計
- ⑦ 会社周辺の道路・河川の清掃活動の推進
- ⑧ 環境経営方針を全従業員に周知徹底し、環境経営レポートにより公表する

制定日： 2011年2月1日
改定日： 2018年6月1日

代表取締役 藤田達也

環境経営目標及び環境経営計画

(1) 環境経営目標

1) 単年度目標

項目	単位	2017.6 ~ 2018.5	2021.6 ~ 2022.5
		基準年	目標
CO2 排出量	kg-CO ₂ / 年	116,648	126,600
電力使用量	kWh/ 年	143,499	170,122
ガソリン	l/ 年	17,524	17,303
上水使用量	m ³ / 年	1,607	1,570
廃棄物排出量	t / 年	6.3	5.9
事務用紙使用量	t / 年	3.8	3.4
環境配慮型の技術提案	件 / 年	22	22
地域貢献	回 / 年	5	5

※ 削減率は、毎年0.3%とした。

※ 電力使用量 排出係数は、0.529kg-CO₂/kWh とした。

※ 2018年1月本社増床(1.5倍)のため、電力使用量を1.2倍とした。

2) 中長期目標(3~5年先)

項目	単位	2017.6 ~ 2018.5	2018.6 ~ 2019.5	2019.6 ~ 2020.5	2020.6 ~ 2021.5	2021.6 ~ 2022.5
		基準年	目標	目標	目標	目標
CO2 排出量	kg-CO ₂ / 年	116,648	127,874	127,400	127,000	126,600
電力使用量	kWh/ 年	143,499	171,679	171,160	170,641	170,122
ガソリン	l/ 年	17,524	17,468	17,413	17,358	17,303
上水使用量	m ³ / 年	1,607	1,600	1,590	1,580	1,570
廃棄物排出量	t / 年	6.3	6.2	6.1	6.0	5.9
事務用紙使用量	t / 年	3.8	3.7	3.6	3.5	3.4
環境配慮型の技術提案	件 / 年	22	22	22	22	22
地域貢献	回 / 年	5	5	5	5	5

※ 削減率は、毎年0.3%とした。

※ 電力使用量 排出係数は、0.529kg-CO₂/kWh とした。

※ 2018年1月本社増床(1.5倍)のため、電力使用量を1.2倍とした。

環境経営目標の実績

本年度実績

項目	単位	基準年	2021年度				
		2017.6～2018.5	前年実績	目標	実績	目標との比較	
			2020.6～2021.5	2021.6～2022.5		評価	差
CO2 排出量	kg-CO ₂ / 年	116,648	112,747	126,600	116,576	○	-10,024 (-7.9%)
電力使用量	kWh / 年	143,499	148,701	170,122	155,213	○	-14,909 (-8.8%)
7月～9月の平均気温	℃	26.3	26.9	—	26.5	—	—
7月～9月の購入電力	kW h	34,953	40,913	—	40,159	—	—
液化石油ガス	kg / 年	18	37	—	30	○	—
ガソリン	l / 年	17,524	14,644	17,303	14,818	○	—
車両台数	台	20	22	—	22		
総走行距離	Km	256,676	242,808	—	255,151		
ガソリン消費量	L	17,524	14,644	—	14,818		
燃費	km / L	14.6	16.6	—	17.2		
上水使用量	m ³ / 年	1,607	1,112	1,570	1,182	○	-388 (-24.7%)
廃棄物排出量	t / 年	40.4	6.1	5.9	4.9	○	-1.0 (-16.9%)
事務用紙使用量	t / 年	3.8	4.1	3.4	3.3	○	-0.1 (-2.9%)
環境配慮型の技術提案	件 / 年	22	16	22	20	×	-2 (-9.1%)
地域貢献	箇所 / 年	5	8	5	7	○	2 (40%)

電力使用量 排出係数は、0.529Kg-CO₂/kWh とした。

3年間のCO2排出量 実績

項目	単位	実績	
		令和元年6月～ 令和2年5月	令和3年6月～ 令和4年5月
CO2排出量	kg-CO ₂	115,880	116,576
売上高百万円当たりのCO2排出量	t-CO ₂ /百万円	0.083	0.073

CO2 排出量は、前年比103.4%

電力使用量は、前年比104.4%

燃費については、16.6/L → 17.2/L と伸びた。(総走行距離の増加率に対するガソリン消費の増加率が少ない)

地域貢献活動は目標件数は達成したが、コロナ対応のため思いどおりの活動ができなかった。

売上高の伸びに対してCO2排出率は減少しており、CO2排出は抑制されているものと思われる。

(4) 環境経営計画の取組結果とその評価

期間：2021年6月～2022年5月

項目	活動内容	責任者	取組結果	評価	評価・指示	
CO2排出量削減	燃料使用量削減	エコドライブの励行	部内安全運転管理者	アイドリングストップ・タイヤの空気圧・不要な荷物を積まない等を行った	○	更に周知し、継続する
		適正な車両整備	総務課	3ヶ月に一度の定期点検・定期的なオイル交換・月に一度の洗車を行った	◎	計画どおり実施されている
		ハイブリッド車の導入を促進	総務課	ハイブリッド車 1台増加 計17台／22台	◎	燃費向上に貢献
		ワンボックスカーの活用	事業部	複数台の車での移動を減らすためワンボックスカーを適宜配置する	◎	乗車定員増により効率化された
		Web会議 Web講習の積極的導入	企画戦略室	打合せ協議や講習会場への車の移動回数が減少した	◎	効果大 継続する
	電力使用量削減	エアコンの温度設定(冷房28℃ 暖房20℃)	LE委員	エアコンの温度設定をこまめに調節した	○	デマンド監視が効果的であった
		屋上散水(夏期)による電力使用量節減	総務課	水道水を使いすぎないよう、こまめに調節しながら常に濡れている状態にした	◎	良好できており効果があった
		不要時の消灯	LE委員	使用していない部屋の消灯・昼休みの消灯を実施した	○	夜間 チーム毎に区切った消灯が不十分
		照明機器・エアコン・窓の清掃	火元責任者	年末に実施	◎	計画どおり実施されている
		充電式電池を常備し、乾電池の使い捨てを廃止	総務課	主にデジタルカメラやパソコンマウスの乾電池として利用された	○	更に周知し、継続する
		照明の個別スイッチ設置(新社屋)	総務課	照明に個別スイッチを設置し、不要な照明の点灯を抑制する	◎	効果大 継続する
		人感センサーでの照明オンオフ	総務課	通路等の照明は人感センサーでオンオフを行い消し忘れを抑制する	○	人感センサーの無いトイレの消灯忘れが目立つ
水使用量削減(排水量削減)	手洗い・洗い物時の日常的節水の励行	LE委員	適正化の指導	◎	継続する	
廃棄物削減	分別ボックスの設置	LE委員		◎	継続する	
	裏紙使用	LE委員	コピーの裏紙使用・メモ帳に使用した	◎	ミスプリントの削減も目指すこと	
事務用紙使用量削減	新ワークフローシステムの導入により文書の電子化を促進	システム管理責任者		○	電子化の効果が出ている 更に推進のこと	
	基幹系情報システムの更新による省力化、省資源化	企画戦略室	台帳類をPDF化した 稟議書類を電子化した	◎	大幅な用紙使用量の削減ができた	
環境配慮型の技術提案	環境配慮型の設計	部門長	業務を実施中	◎	継続する	
	公共構築物の長寿命化に関する調査設計	部門長	業務を実施中	◎	継続する	
地域貢献(清掃活動ほか)	各部で、3回／年 実施する	部門長	予定どおり実施した	◎	継続する	
	徳島協働の森づくり事業への参加	総務課	H28-02月に美馬市地区のパートナーシップ協定継続中(5年間)	◎	継続する	
	エコキヤップ運動への協力	総務課	社員へ呼びかけを行いエコキヤップ運動に積極的に協力する	△	全国的に廃止	
健康経営の実践	社員の健康維持と増進に関する取組み	総務課	運動実践、社内講習、社内スポーツ大会、保健指導等を実施	◎	継続する	
	休日出勤・残業時間の削減	全社員	ノー残業デーの実施、代休・振替休日の取得を促進	○	働き方改革法案の完全適合を目指す	

次年度の環境経営目標

(1) 環境経営目標

1) 中長期目標(3~5年先)

項目	単位	2021.6 ~ 2022.5	2022.6 ~ 2023.5	2023.6 ~ 2024.5	2024.6 ~ 2025.5
		基準年	目標	目標	目標
CO2 排出量	kg-CO ₂ / 年	122,785	122,441	122,100	121,764
電力使用量	kWh / 年	155,213	155,213	155,213	155,213
ガソリン	l / 年	14,818	14,670	14,523	14,378
上水使用量	m ³ / 年	1,182	1,182	1,182	1,182
廃棄物排出量	t / 年	4.9	4.9	4.9	4.9
事務用紙使用量	t / 年	3.3	3.3	3.3	3.3
環境配慮型の技術提案	件 / 年	20	20	20	20
地域貢献	回 / 年	7	7	7	7

※ ガソリンは社有車の入れ替えによる燃費向上を加味し、削減率を毎年1%とした。

※ 電力使用量 排出係数は、0.569kg-CO₂/kWh とした。

次年度の取組内容

期間：2022年6月～2023年5月

項目	活動内容	責任者	取組内容
CO ₂ 排出量削減	エコドライブの励行	部内安全運転管理者	アイドリングストップ・タイヤの空気圧・不要な荷物を積まない等を行う
	適正な車両整備	総務課	3ヶ月に一度の定期点検・定期的なオイル交換・月に一度の洗車を行う
	ハイブリッド車の導入を促進	総務課	社有車買い替えの際には原則としてハイブリッド車を選定する
	ワンボックスカーの活用	事業部	複数台の車での移動を減らすためワンボックスカーを適宜配置する
	Web会議 Web講習の積極的導入	企画戦略室	打合せ、講習会参加を可能な限りWebとし、移動に係る時間・燃料を抑制する
電力使用量削減	エアコンの温度設定（冷房28℃ 暖房20℃）	L E委員	エアコンの温度設定をこまめに調節する
	屋上散水（夏期）による電力使用量節減	総務課	屋上の散水により社屋内部の温度上昇を抑える。
	不要時の消灯	L E委員	使用していない部屋の消灯・昼休みの消灯を実施する
	照明機器・エアコン・窓の清掃	火元責任者	年末に実施
	充電式電池を常備し、乾電池の使い捨てを廃止	総務課	充電池が使用可能な機器には可能
	照明の個別スイッチ設置（新社屋）	総務課	照明に個別スイッチを設置し、不要な照明の点灯を抑制する
	人感センサーでの照明オンオフ	総務課	通路等の照明は人感センサーでオンオフを行い消し忘れを抑制する
用水使用量削減 (排水量削減)	手洗い・洗い物時の日常的節水の励行	L E委員	適正化の指導
廃棄物削減	分別ボックスの設置	L E委員	ゴミの分別が適性に行えるよう、分別ボックスを設置する
	裏紙使用	L E委員	コピーの裏紙使用・メモ帳に使用する
事務用紙使用量削減	新しいワークフローシステムの導入により文書の電子化を促進	システム管理責任者	社内稟議書類等の紙での回覧を廃止し、電子申請とする
	基幹系情報システムの更新による省力化、省資源化		ISO関係書類の電子化に取り組む
			各種の台帳類をPDF化してシステム運用し、紙出力を減らす
環境配慮型の技術提案	環境配慮型の設計	部門長	設計業務の中で環境配慮型の工法を提案していく
	公共構築物の長寿命化に関する調査設計	部門長	点検・調査により公共構造物の長寿命化を図る
地域貢献（清掃活動ほか）	各部で、3回／年 実施する	部門長	アドバトお遍路さん
	献血活動	総務課	年2回の献血車
	NPO法人フードバンクとくしまへの支援	総務課	食品の支援など
健康経営の実践	社員の健康維持と増進に関する取組み	総務課	健康診断の受診及び2次検査の受診を勧める
	休日出勤・残業時間の削減	全社員	ノー残業デーの実施等を行い、残業時間の削減に努める
	新型コロナウイルス対策	全社員	消毒、三密の回避、アクリルパネル、空気清浄機の全室設置、新たなBCP策定

環境関連法規制等の遵守状況

最新版確認日：2022年6月1日

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次のとおりである。

適用される法規制	要求事項	遵守状況
環境基本法	・公害防止及び自然環境の保全措置 ・再生資源等の利用 ・環境の保全に関する施策への協力	遵守
グリーン購入法	可能な限りの環境物品の選択	遵守
地球温暖化対策の推進に関する法律	温室効果ガス排出抑制のための措置	遵守
環境配慮事業促進法	事業活動に係る環境情報の提供	遵守
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	・委託契約締結、許可証の確認 ・マニフェストの交付と5年間の保存 ・マニフェスト交付実績の報告	遵守
特定家庭用機器再商品化法	特定家庭用機器の適正処分	遵守
フロン排出抑制法	第一種特定製品の適正な運用（定期点検及び簡易点検の実施・記録・廃棄など）	遵守
浄化槽法	浄化槽の適正な運用（保守点検・清掃・法定点検の実施など）	遵守
徳島県脱炭素社会の実現に向けた 気候変動対策推進条例	温室効果ガスの排出を抑制する「緩和策」と、気候変動の影響に適切に対処する「適応策」を両輪とした気候変動対策	遵守
徳島県生活環境保全条例	騒音発生施設の設置届	遵守
徳島県環境基本条例	廃棄物の適正な処理及び環境への負荷低減のための努力	遵守
徳島市公害防止条例	公害防止のため必要な措置と、市が行う公害防止に関する調査及び施策への協力	遵守
北島町公害防止条例	公害防止のため必要な措置と、町が行う公害防止に関する調査及び施策への協力	遵守
消防法	消防用設備等の点検と報告（火災報知器）	遵守

環境関連法規制等の遵守状況の定期評価の結果、環境関連法規制等の逸脱はありませんでした。

また、過去3年間にわたって違反や訴訟もありませんでした。

代表者による全体の評価と見直し・指示

環境管理責任者の報告

- ① CO2排出量については、前年度比103.4%、と微増となった。
- ② 上記にかかる、電力使用量については前年度比104.4%と増加した。
夜間電力の消費が前年27,920kWh～今年30,744 kWhと増加したことも要因の一つであるが、売上高(業務量)の増加が主因と思われる。電力使用量抑制のため不要な照明の消灯をさらに進めていく。
- ③ ガソリン消費量は前年度比101.2%と微増であったが、売上高(業務量)の増加によるものと判断できる。
web会議による業務打合せの導入によりガソリン使用量を大きく抑えられているため、今後も積極的に実施する。燃費は前年の16.6Km/Lから17.2Km/Lと伸びている。(ハイブリッド車は、昨年から2台増加して17台／22台)定期的な社有車の入れ替え、ハイブリッド化の取組の効果が出ており、引き続き継続する。
- ④ 上水使用量については、前年度比106.3%と増加した。
- ⑤ 廃棄物排出量については、前年度比80.3%　目標比83.1%と減少した。
- ⑥ 事務用紙使用量については、前年度比80.5%と大幅に減少した。新ワークフローシステムの導入、書類の電子化の取組が出ており、引き続き電子化を進めていく。
- ⑦ 環境配慮型の技術提案については、環境配慮型の設計案件は減少傾向にあるが、公共事業の施策が防災・減災、老朽化・長寿命化へとシフトしており、その関連業務が多くなっている。
- ⑧ 地域貢献活動は、清掃(アドプト)・献血への協力など、積極的に取り組んでいる。しかし、新型コロナウイルス感染防止の観点から十分に活動できていない状況もあり、次年度の活動についても懸念されるところである。
- ⑨ 健康経営への取り組みも積極的に推進し、社員の健康を考えた経営方針が評価され、経済産業省・日本健康会議が主催する「健康経営優良法人(中小規模法人部門)」において、2017年～2020年と4年連続に引き続き2021年～2022年は「健康経営優良法人2021（中小規模法人部門（プライム500））」に2年連続認定された。
- ⑩ 売上高百万円当たりのCO2排出量は過去3年間、0.083 t-CO2→0.079 t-CO2→0.073 t-CO2と順調に減少している。

代表者による評価と見直し・指示

【評価】

上記報告より、全社員に寄る環境活動は順調に成果を挙げていると評価する。

【見直しの必要性】

環境経営方針：無し

環境経営目標：有り→5年間の中長期目標が昨年で終了したため、新たな中長期目標を設定すること。

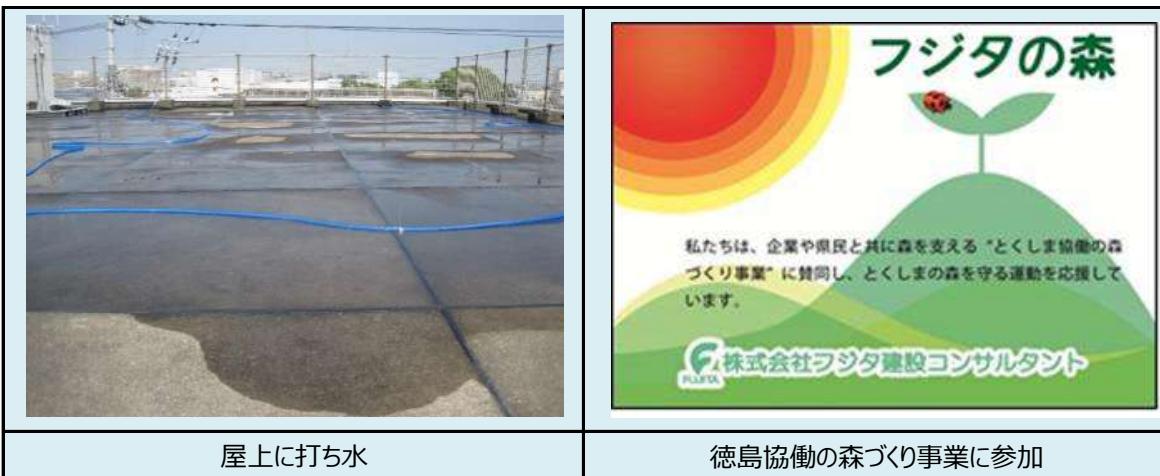
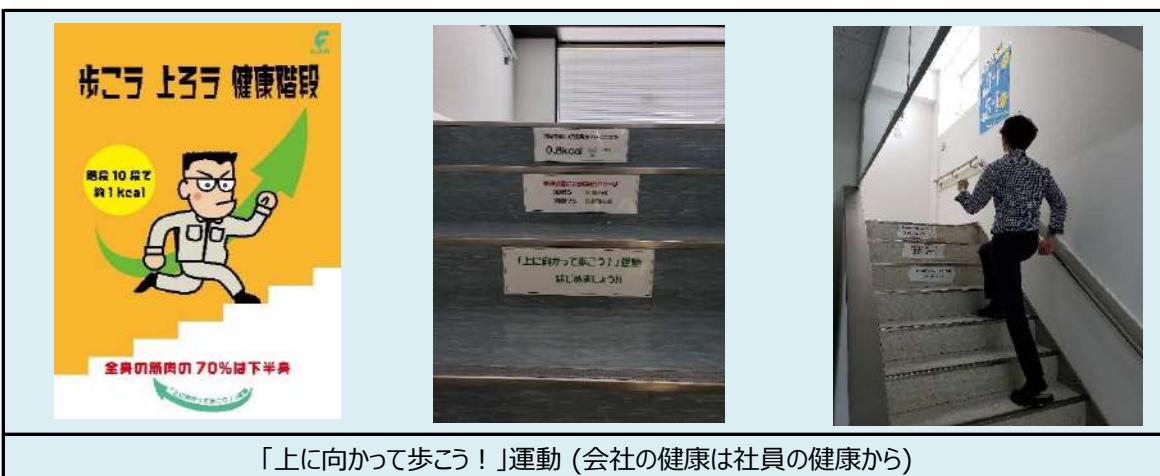
環境経営計画：無し

実施体制及びEMS（環境経営システム）：無し

【指示】

- ① 当社業務範囲は、オフィス及び現場に於ける種々の環境負荷要因があり、引き続き広範な環境活動に取り組んでほしい。
- ② 活動状況の一層の見える化を行い、全社員の協力のもとに取組みの充実を図ってほしい。
- ③ 健康管理を経営視点で考え、戦略的に取り組む健康経営を推進し、生活習慣病対策、残業時間の縮減、休日出勤の制限等様々な施策を実施しているところであり、社員の健康がひいては環境経営につながるものと確信する。新型コロナウイルス感染防止対策をしつつ「社員の健康は会社の健康」をスローガンにさらに取り組みを進めてもらいたい。
- ④ 公共構造物の長寿命化に関する調査設計業務は社会全体の省資源化に資するものであり、業務の目的を十分に理解のうえ進めていってほしい。

継続している活動





社内の至るところにこのような表示があります



環境配慮型の設計・調査業務

1	南部総合県民局 県土整備部(阿南庁舎)	牟岐川他 環境調査業務
2	県土整備部 東部県土整備局(徳島庁舎)	園瀬川 河川環境調査業務
3	県土整備部 東部県土整備局(徳島庁舎)	正法寺川 河川環境調査業務
4	南部総合県民局 県土整備部(阿南庁舎)	大津田川 環境調査業務



正法寺川 河川環境調査業務



大津田川 環境調査業務



小学校環境学習

公共構築物の長寿命化に関する調査設計業務

1	県土整備部 東部県土整備局(徳島庁舎)	堂の浦地先海岸 長寿命化計画策定業務
2	県土整備部 東部県土整備局(徳島庁舎)	令田川排水機場 制御設備老朽化対策
3	南部総合県民局 県土整備部(阿南庁舎)	蒲生田地先海岸 長寿命化計画策定業務
4	南部総合県民局 県土整備部(阿南庁舎)	南部健康運動公園公園 施設長寿命化計画
5	西部総合県民局 県土整備部(美馬庁舎)	曾江谷川他 河川施設点検調査
6	西部総合県民局 県土整備部(美馬庁舎)	国道438号他 橋梁定期点検
7	西部総合県民局 県土整備部(美馬庁舎)	国道438号 道路付属物点検
8	阿波市	阿波市橋梁点検調査業務
9	吉野川市	吉野川市橋梁点検調査業務
10	北島町	北島町橋梁点検業務
11	美馬市	美馬市橋梁定期点検業務
12	美波町	美波町橋梁定期点検業務
13	美波町	美波町 林道長寿命化策定計画
14	板野町	板野町橋梁定期点検業務
15	板野町	平山跨道橋 橋梁定期点検
16	藍住町	藍住町橋梁定期点検業務

	
橋梁点検（橋梁点検車）	橋梁点検（船上）

	
橋梁点検（地上）	橋梁点検（梯子）

	
南部健康運動公園公園 施設長寿命化計画	

清掃活動

参加している清掃活動

清掃活動の内容	場所	実施回数
「アドプト・プログラム吉野川」 (徳島河川国道事務所)	今切川 左岸 応神大橋から下流へ600m区間	毎年 年/3回
「ボランティア・サポート・ プログラム徳島」 (徳島河川国道事務所)	一般国道11号6.30kp~3.90kp上下 徳島市川内町平石夷野～ 徳島市川内町加賀須野	毎年 年/3回
「徳島県OURロードアドプト事業」 (徳島県東部県土整備局)	県道 徳島鳴門線 (北島町鯛浜地先 0.13Km)	毎年 年/10回程度
「北島町アドプトプログラム」 (北島町)	北島町鯛浜字西ノ須75-5番地地先～ 北島町鯛浜字大西52-2番地地先 北島町鯛浜字大西55-2番地地先～ 北島町鯛浜字大西120-1番地地先 水神社遊び場	毎年 年/3回



吉野川ごみ調査

1月29日（土）、吉野川の川ごみの実態を把握することを目的とし、徳島県職員10人と当社社員有志8人で、吉野川右岸河口から4km付近3箇所（①～③下図参照）においてごみ拾いをしました。拾ったごみは、ICC（International Coastal Cleanup）に基づいて41種類に分別し、川ごみの特性について調査しました。



出現割合は、調査箇所①と調査箇所③では飲料ペットボトルが最も多く、調査箇所②ではタバコの吸い殻が一番多い結果となりました。調査箇所②はアスファルト舗装道路に隣接していて自動車の通行量が多いため、車からのポイ捨てが主な原因と考えられ、調査箇所①と調査箇所③は、上流側から流れついたごみやグラウンドの利用者が廃棄したごみではないかと思われます。

吉野川では、137の団体や企業が（H31.3時点）が年3回以上、清掃活動を行っていますが、なかなか川ごみは減りません。地球規模の環境問題となっているプラスチックごみが多いのも、川でも例外ではありません。プラスチックごみは生ごみのように自然に分解されることがないのと、除去をしなければどんどん蓄積されます。

誰かが簡単に捨てたごみが、美しい川辺を汚染し、風景さえ変えてしまうのです。

このごみ調査は、令和元年に徳島県で開催された「第5回ごみサミットinとくしま」で実施された活動を引き継いで行っているもので、今回は県職員と当社社員だけでしたが、当時は社会教育の一環として高校生も参加してくれ、ともにごみを拾うことで、若い世代にも川辺の環境問題に関心を持ってもらうことができました。



このようなごみ調査を行うことで、若い世代や地域住民に川辺の環境問題に関心を持つてもらい、少しでも川を美しく保って次世代へと繋いでいけるよう、今後も努力を続けたいと思います。



「フジタアドプトお遍路さん」始めます

当社は現在、5つのアドプト・プログラム事業に参加しています。

アドプト・プログラム事業とは、行政の支援を受けながら、一定区画の公共の場所（道路・河川敷・公園等）を、まるでわが子のように愛情をもって世話を（清掃美化）をする、行政と住民（企業）の協働の美化運動のことです。

準備するのは距離計と万歩計だけです。

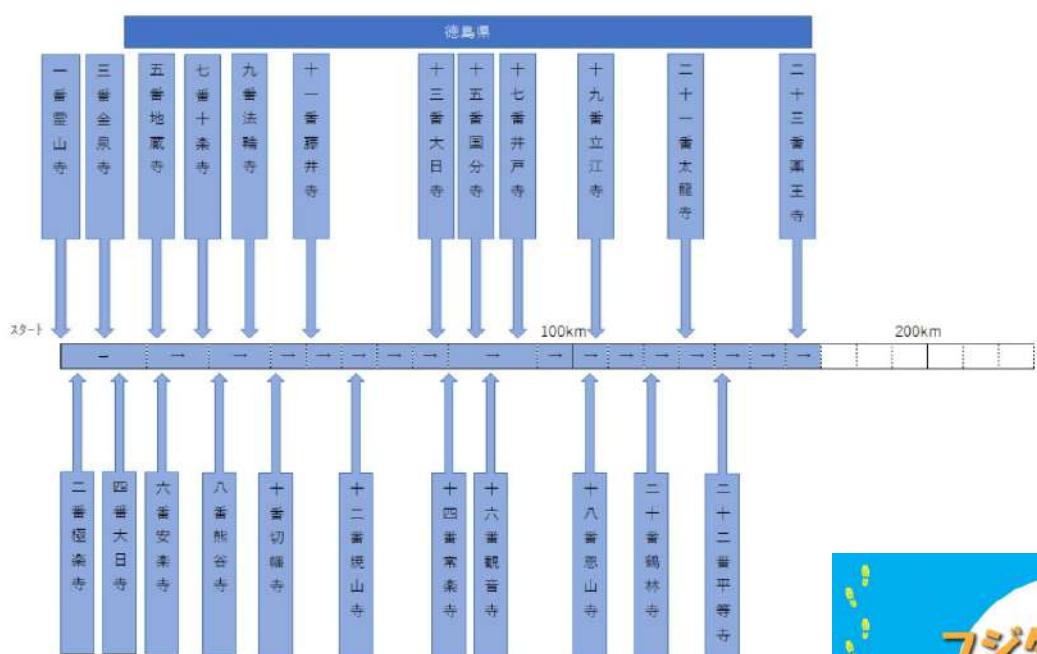
それをアドプトチームの代表者に持ってもらい、歩いた距離と歩数を参加人数で掛け、進んだ距離を1番札所から距離表（下記は予定）に記入します。

めざすは88番札所大窪寺、全長約1200km（歩き遍路）！

何年かかるかわかりませんが、フジタワントームでお遍路しているような気分で取り組みます。

歩くのは身体にいいし、アドプトは心と地域の浄化になります。

アドプトを歩き遍路に見立てた一石二鳥の健康づくりです。



献血活動

献血サポーターに登録し、年に2回会社へ献血車が来て献血を行うなど、献血活動に積極的に取り組んでいます。



令和3年11月、血液事業の推進において20年以上に渡り組織的に協力しているとして、「日本赤十字社金色有功賞」を受賞いたしました。

平成25年7月には、長年の献血への協力に対して、厚生労働大臣より感謝状をいただきました。



健康経営の実践

健康経営優良法人 2022 (ブライト500) に認定されました！

「健康経営によって輝き、未来と地域を照らす企業」という意味を持ち、一定の数値化のルールを設けることで、特に優れた取組や、地域における健康経営の拡大に寄与する取組を行う法人のみが選定される、「健康経営優良法人2022（中小規模法人部門（ブライト500））」に認定されました。



「健康経営優良法人認定制度」は、2017年に経済産業省と日本経営会議によって開始された制度で、単純に業績が優れているというだけでなく、従業員の健康増進をふまえて経営に取り組む姿勢を持つ法人を世間に広めるという目的で始まりました。

当社は2017年に「中小規模法人部門」において全国で95社（その後223社が追加認定）、四国内では2社のうちに選ばれ、今年で5年連続の認定になります。昨年度からその中でも優良な上位500法人に対して、新たに（ブライト500）という冠が付加されることになり、当社は中小規模法人部門に認定された12,255法人の中から、2年連続で（ブライト500）に選定されました。

当社は今後もこの冠に恥ずかしくないよう、社員の健康と幸せを守るためにあたりまえのことを継続し、社員の健康づくりに積極的に取り組みながら、柔軟な働き方ができる企業へ、社員とともに歩んでいきます。

「スポーツエールカンパニー2022」に認定されました

スポーツ庁の「スポーツエールカンパニー2022」に認定されました。

「スポーツエールカンパニー」の認定は2019年に四国で初めて認定されてから、今年度で4年連続です。

また、今年度は全国で685社が認定を受けるなか、当社の取組事例が代表8社に選ばれてスポーツ庁のHPに掲載されました。

企業名	新規/継続	所在地	業種	主な取組内容	従業員数
株式会社フジタ建設コンサルタント	継続	徳島県北島町	建設コンサルタント	「どこでもラジオ体操」「上に向かって歩こう！」「フジタアドプトお遍路さん」等	100

●どこでもラジオ体操

- ✓ 始業時間5分前にラジオ体操第1を流している。全館内にスピーカーがあるため、社員はどこにいてもラジオ体操を行うことができる。



▲上に向かって歩こう！



▲どこでもラジオ体操

●フジタアドプトお遍路さん

新規

- ✓ アドプトとは、行政の支援を受けながら一定区間の公共の場所をまるでわが子のように世話（清掃美化）をする、行政と住民（企業）の協働の清掃活動のこと。現在は5つのアドプト事業に参加している。
- ✓ アドプトチームの代表者が距離計と万歩計を持ち、参加者全員の歩数を距離に換算して、進んだ距離を一番札所から距離表に記入し、社内グループウェアで公表している。何番札所まで進んでいるか可視化していくので、モチベーションも上がる。
- ✓ 同僚とともに約1200km先の八十八番札所をめざす、清掃活動と仮想歩き遍路を兼ねた一石二鳥の健康づくり。



▲フジタアドプトお遍路さん



スポーツエールカンパニー2022認定証

株式会社フジタ建設コンサルタント 殿

認定番号 2022649
有効期限 2022年12月31日

スポーツエールカンパニー認定制度実施要項第7の規定に基づき。
貴殿をスポーツエールカンパニー2022として認定したことを証する。

2022年1月26日

スポーツ庁長官 室谷 仁志

スポーツ庁 JAPAN SPORTS AGENCY Sport in Life

今年度も新型コロナウイルス感染症のため、以前のようなスポーツに関するイベントはできませんでしたが、「毎朝のどこでもラジオ体操」及び階段を使った「上に向かって歩こう！」などの個々でできる取組や、昨年から始めたアドプトと健康づくりをマッチングさせた「フジタアドプトお遍路さん」などの活動が認められました。

新型コロナウイルス感染症というパンデミックはなかなか終息の見込みがたちませんが、感染症対策同様、私たちは私たちにできる感染症に負けない健康づくりに取り組みます。

太陽光発電施設



2022年 5月 の診断レポート

お客様宅のシステム容量は **11.8 kW**

お客様宅の発電量[kWh] ()内は昨年値	診断完了日(*1)	システムの状況	環境貢献度(*2)
1,674 (1,361)	2022.6.1	診断の結果、太陽光発電システムは正常に稼動しています。	CO2排出削減量 846.2 kg-CO2 成木の吸収量 60.4 本分 